

会議結果のお知らせ

令和7年度宮古市防災会議を次のとおり開催しました。

令和7年10月22日

宮古市防災会議

1 開催日時

令和7年10月1日（水） 11時00分 ～ 12時00分

2 開催場所

宮古市市民交流センター2階 多目的ホール

3 議題

（1）協議事項

ア 宮古市地域防災計画・水防計画の修正について

（2）報告事項

ア 宮古市災害警戒・対策本部設置状況について（R6.1～R7.9）

イ 大船渡市林野火災に伴う宮古市の対応状況について

ウ 7月30日の津波警報に係る対応について

4 会議の概要

別添のとおり。

5 問い合わせ先

危機管理監危機管理課防災係 電話0193-68-9111

令和7年度宮古市防災会議

1 出席者（35名）

中村尚道、加藤勇介、大場剛敏、葛西貴仁、佐々木誠（宮古教育事務所）、菊地隆、小田嶋孝一、鳥居敏治、大内毅、佐々木誠（釜石港湾事務所・代理）、佐藤一、桎谷朋秀、田中晋、畠山毅、多田康、岩間健、去石一良、川原栄司、伊藤晃二、佐々木重勝、熊林利明、小山田大助、佐々木力、菊池忠成、佐々木隆文、金野淳一、長沢雅彦、安見一幸、伊藤重行、盛合敏子、信夫幸子、山崎一美、西澤崇誌、小林陽子、星節

2 欠席者（9名）

林健児、杉江琢美、石川美保子、山崎正利、南正明、林節、有原領一、昆亜紀夫、伊藤健二

3 事務局出席者（3名）

危機管理監 芳賀直樹、危機管理課長 山崎正幸、危機管理課副主幹 小林達広、

4 傍聴者（1名）

5 議事等

（1）協議事項

ア 宮古市地域防災計画・水防計画の修正について

宮古市地域防災計画・水防計画の修正（案）について、事務局から説明した。

（2）報告事項

ア 宮古市災害警戒・対策本部設置状況について（R6.1～R7.9）

イ 大船渡市林野火災に伴う宮古市の対応状況について

ウ 7月30日の津波警報に係る対応について

報告事項について、事務局から一括して報告した。

質疑応答内容

質問・意見	回答
(1) 協議事項について (委員) 今回の修正は、令和6年の能登半島地震を踏まえて、避難所の環境整備についての修正箇所が多いようだが、実際、先日のカムチャツカ半島地震津波での市内の避難所の様子はどうだったのか。 (委員) 避難指示が発令されたとき、浸水区域のバスの運行はすべて取りやめ、宮古駅前に関しては市役所に避難した。 浄土ヶ浜の駐車場では、観光客を待機していたバスの中に入れて暑さをしのいでもらった。 今回は、特段問題なく対応ができた。 (2) 報告事項について (委員) 遠地地震津波では、避難時間が長くなるが、今回の場合の課題は何だったのか。	(事務局) 避難所施設の多くが小中学校の体育館であり、暑さの中での避難となり、教職員の誘導により冷房の効いた教室に誘導していただいた。また、協定を結んでいる業者からスポットクーラーを配置していただき、暑さ対策を行った。 (事務局) 課題は暑さ対策であり、今回はグリーンピア三陸みやこの大広間を借用して、長時間になったら、避難者を移動させるよう準備した。 水門・陸閘を閉鎖した場合、観光客等の取り残された車の問題があり、今回は一時的に開放して、車を移動させた。出来るだけ早く通常の状態に戻ってもらうことが課題である。 また、今後は各地区の自主防災会等と様々な訓練を行い、出された課題を解決していきたい。

(委員) 河川敷公園にいた人が避難しなかった。 地元の人ではないため、避難場所がわからなかった。 保育所の大勢の園児や職員の避難にあたっては、近隣の大型葬祭場に協力してもらい、非常に助かった。	(事務局) 避難については地域によって、それぞれ事情が異なるので、各地区の方々とワークショップなどを行いながら、問題点を共有し、課題を解決していきたい。
(委員) 鉄道関係では、避難指示とともに、観光客や職員を市役所に避難させた。 列車の再開については、市町村により避難指示解除のタイミングが異なるため、すぐに再開とはならなかった。 今後、遠地地震津波の対応を検討していきたい。	(事務局) 遠地地震津波については、南太平洋の場合、津波到達の 2 時間前に津波警報を出すなど、様々なケースが考えられるので、臨機応変に対応していきたい。